

厚生・産業常任委員会

- 1 開催日時 平成 28 年 5 月 18 日（水） 12 時 59 分～16 時 28 分
- 2 開催場所 第四委員会室
- 3 説明員 健康医療福祉部長、商工観光労働部長、病院事業庁長および関係職員

4 議事の概要

【商工観光労働部】

（1）平成 28 年度商工観光労働部の主要施策について

委員からは、

- ・観光は裾野が広いので、民間、市町、スポーツ関係者、大学や地域で主体的に取り組んでいる方々等との連携を大事にしてほしい
- ・県ではブランド化など様々な発信を行っているが、しっかりと観光や来場者数の増に反映できるように取り組まれない

などの意見が出された。

（2）平成 28 年度中に策定、変更が予定されている計画等について

委員からは、

- ・職業開発計画の策定において、求職者、求人者のニーズを踏まえることはもちろんのこと、実施予定の計画の記載に留まらず、最終的なマッチングなど、その成果を意識されたい
- ・計画の策定においては幅広い意見を聞くことが大事なので、審議会の委員選定の際に配慮されたい

などの意見が出された。

（3）『地域の“ものづくり力”を活かした「滋賀健康創生」特区』について

（4）「滋賀県本社機能移転プロジェクト」の認定について

（5）平成 28 年度滋賀県「観光交流」振興指針アクションプランについて

委員からは、滋賀でウインタースポーツやマリンスポーツを楽しむことや、情報発信の方法にも工夫が必要であるなどの意見が出された。

（6）日本遺産「琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産」の追加認定について

【健康医療福祉部】

（7）平成 28 年度健康医療福祉部の主要施策について

委員からは、

- ・母子医療対策費の中に男性の不妊治療対策も含まれていると思うが、ここに母子と限定して記載していると、出産等が女性だけに押し付けられているという誤解を招くのではないか
 - ・発達障害の方の就労支援について、民間やNPO等で積極的に取り組まれているので、県も支援願いたい
- などの意見が出された。

(8) 平成28年度中に策定、変更が予定されている計画等について

委員からは、アルコール健康障害計画の策定について、ベースとして国の計画に則ってというのは分かるが、今年度から取り組んでいただきたいなどの意見が出された。

(9) 平成26年度包括外部監査の結果および意見に対するその後の措置状況について

委員からは、包括外部監査の指摘を受けて定員の見直しをするのではなく、主体的に考えて先に決めなければ、県の主体性はどこにあるのかと見られかねないなどの意見が出された。

(10) 平成28年熊本地震への健康医療福祉部内対応状況について

【病院事業庁】

(11) 平成28年度病院事業庁の主要施策について

(12) 平成28年度中に策定、変更が予定されている計画等について

委員から、療育部のあり方と守山養護学校との関係で、小さく整理されるイメージがあるので、関係機関で協議いただいて、しっかり役割を果たせるようお願いしたいという意見があった。



委員会で配付された資料

- 1 平成28年度商工観光労働行政 施策・予算の概要
- 2 近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する基本指針の策定について
- 3 滋賀県職業能力開発計画の策定について
- 4 地域の“ものづくり力”を活かした「滋賀健康創生」特区について

- 5 地域再生計画「滋賀県本社機能移転促進プロジェクト」の認定について
- 6 平成28年度滋賀県「観光交流」振興指針アクションプランについて
- 7 日本遺産「琵琶湖とその水辺景観—祈りと暮らしの水遺産」の追加認定について
- 8 健康医療福祉部行政組織図
- 9 平成28年度健康医療福祉部予算の概要
- 10 平成28年度中に策定、変更が予定されている計画等について
- 11 平成26年度包括外部監査の結果および意見に対するその後の措置状況について
- 12 平成28年熊本地震に対する健康医療福祉部の支援状況について
- 13 病院事業の概要